

行政経営資源が縮小する中であっても、まちの魅力を維持・向上するため、本戦略をまちづくりの強固な土台とし、組織、プロセス、風土・文化を変革し、業務改革、意識改革に挑み続けることで、茅ヶ崎市のさらなる発展を目指します。

行財政経営改善戦略が目指すもの

いつまでも持続可能なまちの経営

- ・ 厳しい社会経済情勢においても、限られた行政経営資源で、まちの活力を高め、市民の幸せにつながります。
- ・ 市民ニーズに応じた数多くの施策を展開することで、市民サービス、市民満足度の向上につながります。

業務改善、意識改革が浸透した市役所

様々な変革が市民サービスに広がるまち

- ・ 仕事の手法や内容、組織を変革（トランスフォーメーション）し、行政運営に必要な資源を生み出します。
- ・ 変革した手法や、組織体制をねづかせ、その成果を市民サービスに反映します。

活力をもって挑戦し続ける

- ・ 職員が生き生きと仕事をしながら、変革と創出を常に意識し、新しいことに挑戦し続けます。
- ・ デジタルファーストの視点を持ち 市全体での市民満足度の維持、向上を意識します。

戦略の実現に向けて

行財政経営改善戦略は、目指す姿の実現のため、具体的な取組みを定める2つの方針を策定し、それらの取組みを推進することで目標の達成を目指します。

経営改善推進方針

- ・ 業務効率化
- ・ 業務改革
- ・ 財政健全化

人財活躍推進方針

- ・ 人的資源の創出
- ・ 業務推進力の向上
- ・ 組織力の強化

行財政経営改善戦略

進捗を図る指標	項目	目標値
業務効率化	ICTの新規活用／創出時間	63事業以上／9,415時間
業務改革	業務改革実施率／創出効果額	100% / 7億円
財政健全化	健全化判断比率(将来負担比率)	24.5%以下
定員適正化	職員数	1,780人
組織共通の価値観	市民満足度／職員意識	いずれも前回以上

統合する指針と取組みの総括

経営改善方針

実績・成果を踏まえ、さらなる改革と取組みが必要

C3成長加速化方針 DX推進方針

考え方を継承し、継続して変革に取り組むことが必要

財政健全化緊急対策

成果とアジャイル型の手法の引き継ぎが必要

定員適正化計画

人財活用と定員適正化の両方の視点での取組みが必要

行財政
経営改善
戦略

(計画期間)
令和
5～7年度

Mission

つなぐ

果たすべき
使命、目的

Vision

ねづく

実現を目指す
将来像

Value

いどむ

行動基準
価値観